

はとみね 九鳥の峯

No.23
2012
3.31

平成24年3月31日



煙霧体験訓練のようす

主な内容

自主防災訓練	2P
文化財防火デー	2P
高浜ぶどう	2P
還暦同窓会	3P
成人式	3P
ボランティアガイド活動	3P
おね火	3P
賑わい創出事業	4P
編集後記	4P

高浜地区自主防災会訓練

「自分たちの身は自分達で守る！」の言葉どおり、高浜の各地区には自主防災組織が立ち上がっており、自主防災会と高浜地区振興会の共催で毎年訓練が実施されています。

東日本大震災を受け、昨年7月に津波避難訓練を実施しましたが、今回は毎年行われている訓練。煙霧体験訓練・消火訓練・通報訓練などを行いました(詳細は2ページ)

自主防災訓練

日頃の備え(心構え)

2月19日（日）白木地区において平成23年度の高浜地区振興会自主防災会訓練を実施しました。毎年開催されるこの訓練、自主防災会が組織している地区において持ち回りで開催されています。今年の訓練内容は、煙霧体験・消火器による消火・119番への通報・救急搬送等の訓練のほか、住宅用火災警報機の義務化に伴う説明や、消火栓からのホース延長の展示訓練も行われました。

約1時間の間に多彩な訓練が行われましたが、充実した訓練となりました。
東日本大震災以来、防災へ



1月26日午前8時59分
「訓練火災です。場所は天草市天草町高浜南上田家の母屋が燃っています。国の登録文化財の指定をされています。」
の通報にて上田陶石社員の初期消防車、救急車が出動して来て消防作業並びにけが人救出など10数名参加で無事訓練が終りました。終了後はいかにして文化財を災害から守るか参加した関係者の反省の中で参加された皆が火の取締り含め文化財愛護に関する意識の高揚が図られました。



2月11日（土）諏訪地区の市有地にぶどう棚を設置しました。これは、天草市のチャレンジ支援交付金事業をもとに資材を購入したもの。単管のパイプや結束具を購入し、組み立てを行いました。出来上がった3列のぶどう棚には今後、補助資材を取り付けながら最終的な完成となります。特に、当箇所のぶどうの苗は3年目であるため、大きく伸びていくことを期待しています。



文化財防火デー（火災訓練）

高浜ぶどう

より良い栽培のためにつ

3月2日（金）高浜公民館横において、ぶどうの苗受領者に対する栽培方法の実習会を開催しました。内容は、植え込みから日常の管理方法まで。途中、実際の栽培地を見学しながらの実習を行い、参加者からは栽培に関する色々な質問が出していました。



3月3日（土）昨年と同様に高浜ぶどうの挿木を行いました。今回は、前日に天草地振興局の普及担当者に指導を受けたばかり。200本の挿木を手際よく行いました。今後は水やりなどの栽培管理を行い、生育を見守ります。

還暦同窓会

誘かしいあの頃に 惑わされた一日

有田 義男

今年の1月2日は、忘れられない思い出の1日となつた。

昭和27年度生れの還暦同窓会に、高浜小・中学校同窓生55名が集い、中学校時代の3名の恩師に花を添えて頂いた。

男子41歳の厄入り同窓会から19年の時を経て、竹馬の友との再会はとても懐かしく、感慨深いものとなつた。

同窓生との再会に胸をふくらませ、この日のために、遠くは北海道から駆け付けた友、関東・関西からも多くの友が万難を超えるも、私たちの名前や中学校時代の様子をよく覚えておられ、当時のエピソードに話が弾んだ。いつまでも私たちの先生。

再会した友との語らいは、何と言つても小・中学校時代の思い出。ひと時のタイムスリップに話は尽きない。時間よ止まれ。恩師や同窓生の存在を改めて感じながら、至福の時は、あつた。懐かしいあの頃に誘われた一日であつた。



成人式



1月3日(火)高浜公民館において天草地区の成人式が行われました。天草地区全体の成人者数は44名。うち高浜地区の今年の成人者は19名。自分達で執り行う成人式ということで、司会を高浜地区の松江奈津紀さんが行いました。

ボランティアガイドをやってみて



2月16日(木)大津町にある国指定重要文化財「江藤家住宅」においてガイド班の視察研修を行いました。ここには、現在も人が住んでいます。公開は毎月一回となつております。それにあわせて地元のガイドが案内を行うという仕組みになつっていました。

よく勉強しているという感を受け、刺激になつたということはもとより、笑顔を絶やすず最後まで続けて行く姿に見ながら、一年間の無病息災(家庭安全)を祈願しました。一般的に正月飾りは、7日前飾つたものを燃やしていくますが、天草においては玄関の注連飾りを一年飾る風習が残つているようでした。



無病息災を願う



1月7日(土)高浜公民館主催の「おね火」が行われました。実際には「鬼火」と標記するようですが、方言によるなまりで「おね火」となっているようです。家庭から持ち寄つた正月飾りを竹で組み上げた櫛に投入し、午後5時過ぎ、松本公民館長により点火されました。「パチパチ：ボーン！」毎年、破竹音に驚かされます。燃え上がる火を見ながら、一年間の無病息災(家庭安全)を祈願しました。

ガイド班の名称も「高浜見みゆ～会」と決定しました。今後も定期的な勉強会やガイド活動を開いていきます。

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

株式会社
高木富

土川計画事務所
宮野 桂輔

夢ある高浜の 未来を願つて……



3年前にスター卜した「夢あるまちづくり創造事業」は、まちづくり団体の初期期を支援することを目的に、熊本県が平成21年度から始めた事業です。高浜地区振興会は、そのモデル地区として県に選定され、私たちが専門家として派遣されました。

高浜地区振興会では、高浜の長い歴史や先人たちの歩みを継承していく「歴史チーム」を結集する「現在チーム」、これから子の子ども達が、この高浜に住み続けるために行動を起こす「未来チーム」の3つのまちづくりチームを結成し、歴史ガイドや、青空市、高浜ブードウの町並みづくりなど、さまざまな活動にチャレンジしてきました。3年の年月を経て、それぞれが小さな芽を出し、その可能性を大切に育てて、きたいと集う仲間の輪が、少しずつ広がり始めたようになります。

その間の私たちの役割は、皆さまの思いや声、活動を記

シンポジウムのように、高浜のさまざまな思いや英知を、一堂に集める機会をつくる支援をすることでした。

今年度でこの事業は一区切りを迎えますが、それが高浜のまちづくりの終わりではありません。高浜には1401の人々が暮らし、日本全国には、それを遙かに凌駕する数の郷土出身者が、今も天草や高浜を気にかけ、郷愁の思いを募らせています。新しい仲間や種、可能性は、高浜だけでなく、日本全国に沢山あります。3年間で芽吹いた3つの芽が健やかに育っていくように、そして新しい種が蒔かれ、芽が出るよう、今後も高浜の皆さまが、地区内外から仲間を受け入れながら語り合いい、夢を持つてまちづくりを継続され、その夢が少しずつ

今の地域課題を改善し、明るい未来を創り出したいという意志と構想を持ち、世代を超える終わりのない旅を続けなくてはなりません。この3年間は、そのための助走期間でもありました。

10年後や20年後、苦労したけど楽しかった、仲間が増えた、子どもが帰ってきた、雇用が生まれていたなど成果を実感できることを祈つて、夢をあたため、行動につなげていく意志を持続してください。すでに、高浜の夢ある未来は始まっているのですから。

でも、色とりどりの花や実りとして実現していくことを願っています。



まだ肌寒い日からもう少し続ります。皆さんも体調管理には十分気を付けてください。ところで、前号（鳩の峯22号）で紹介した「高浜の今昔」の場所は分かりましたか？ひとつは、恵比寿神社・手前の築港（えべつさき・てまえんちつ）の写真でした。また、もう一枚は昔高浜郵便局があつた近辺の写真でした。懐かしくご覧になられた方もいたのでは？第3回目の掲載も予定しています。楽しみにして頂ければと思います。

♪はるになれば：♪春が本当に恋しい編集者でした。

いい♪はるよこいはやく
よく口ずさんでいます。まさ
にそのとおりですね。早く暖
かい春が来てほしいのです
今年の冬は、例年になく寒
さが厳しく、体調を崩された
方もずいぶんいたのではないか
でしょうか。何を隠そう私自
身が体調管理に気を付けてい
たのですが、引かなくともよ
い風邪を引いてしまいました

編集後記

高浜地区

(平成24年3月1日現在)
人口 1,401人
男 641人
女 760人
世帯数 675戸
高齢化率(65才以上)
598人(42.68%)